

ドレミファ器楽

# フル・スコア SK-78

チャイコフスキー「白鳥の湖」より  
ハンガリー舞曲(チャルダッシュ)

小島里美 編曲

チャイコフスキーの三大バレー音楽の一つ「白鳥の湖」は、タイトルとは逆に「黒字のバレー」と言われる程、常に大当たりをとってきたものであるが、その中から選んで構成された組曲も、やはりコンサートでの人気演目となっているのは、すでにご承知の通り。

この「ハンガリー舞曲」は、その中の一曲で、長さも内容も、こじんまりとまとまった格好のレパートリーである。前半の緩慢な部分(ラッサン)と後半の急速な部分(フリスカ)から構成され、「チャルダッシュ」とも呼ばれている。

#### 〔演奏上の注意〕

ラッサンとフリスカの対比が、よく感じられるような演奏を心がけて欲しい。メロディー及び16分音符の大半は、ソプラノ及びアルトアコが受け持つが、前半では充分歌って、16分音符や装飾音(鉄琴・ピアノフルートにもある)も丁寧に奏すること。後半は、軽快なリズム感を出せるかどうかで、演奏の良し悪しが決まる。打楽器群やピアノのリズム感が重要となる。⑥では裏拍のリズム(♪ ♪ ♪ ♪)が強張されるので要注意。演奏は拍の裏でも、拍の頭をしっかりと感じていなければならない。最後までリズムに遅れることなく、むしろ⑩から後の6小節は、アッछェルランド気味にして、にぎやかに演奏した方がよい。

アコーディオン、鍵盤ハーモニカ、及び木琴、鉄琴に於て和音が書かれてある箇所は、和音弾きをせず、各々が一つずつ音を弾き、和音をつくって下さい。

*Moderato*

フルート  
(無くても)  
演奏可能

ソプラノ  
リコーダー

鍵盤  
ハーモニカ

ソプラノ  
アコーディオン

アルト  
アコーディオン

テナー  
アコーディオン  
(オクターブ)  
(上に記譜)

バス  
アコーディオン

木琴

S

チャイコフスキー「白鳥の湖」より  
ハンガリー舞曲(チャルダッシュ)

鍵盤ハーモニカ

*Moderato*

